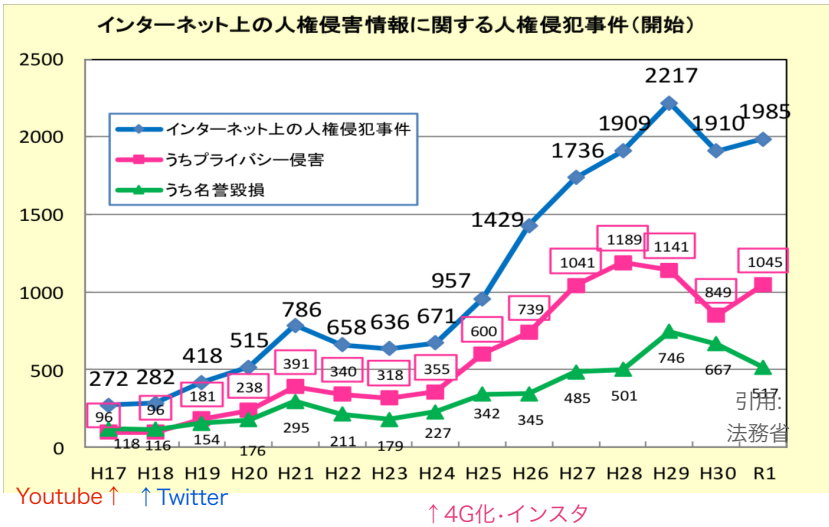


# 誹謗中傷の対策

チーム名 タングステンマッカローニ

## 1.現在の誹謗中傷の状況



誹謗中傷の件数現在約7倍

インターネットの普及と発達



その一方で

誹謗中傷の増加

誰でも気軽に出来ることが裏目に出てしまった

## 2.誹謗中傷とは

誹謗…他人に悪口を言うこと

中傷…根拠のないことを言いたて他人の名誉傷つけること

→ネット上では匿名にする事ができるので誹謗中傷しやすい

[例]



## 3.誹謗中傷の対策

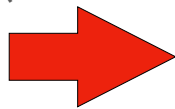
現状

加害者にリスクが弱い(事件とされない限り特定までされないため)

↓

誹謗中傷やりたい放題

[例]



加害者にリスクを作る

住所登録を義務化する→取り締まる側は楽に誹謗中傷した人の特定ができる

加害者には大きいリスク

## 4.考察

今回私たちは誹謗中傷を減らすため考えた「加害者にリスクを作る」という方法。これは言ってしまうと「コケオドシ」に過ぎずサブ垢を作ったりすればいくらかでも対応できてしまい、加害者と取り締まる側のイタチごっこが目に見える。そして、もしこのイタチごっこが続いていけば、SNSの「誰でも気軽に情報を発信できる」という強みを弱めてしまう不完全な解決策です。そして、そのイタチごっこが始まる前に、最良の選択とは「そもそも誰もが心ない悪口を書かないこと」ということを今のうちに気づかせなければならない。